

(別記第3号様式)

平成24年度 市町村観光入込客数

市町村名 **ニセコ町**

(単位:千人、%)

区分	観光入込客数			左の内訳		宿泊客延数	前年度との対比	
	道外客	道内客	合計	日帰り客	宿泊客		前年度観光入込客数	前年度対比
4月	21.4	37.7	59.1	47.8	11.3	14.2	48.8	121.106557
5月	33.9	51.6	85.5	66	19.5	21.3	76.8	111.328125
6月	35.9	50.7	86.5	65	21.5	26.6	80.8	107.054455
7月	49.5	60	109.5	84.7	24.8	30.5	113.4	96.5608466
8月	91.9	83.8	175.7	133.2	42.5	52.1	191.8	91.6058394
9月	49.3	53.3	102.6	77.2	25.4	31.1	114	90
上期計	281.9	337	618.9	473.8	145.1	175.7	625.6	98.9290281
10月	46.8	55.0	101.8	84.3	17.5	25.6	117.9	86.3443596
11月	13.4	28.4	41.8	35.1	6.7	9.5	43.6	95.8715596
12月	75.3	46.1	121.4	92.9	28.5	50.5	104.0	116.730769
1月	130.7	80.1	210.8	171.2	39.6	73.5	188.4	111.889597
2月	108.3	75.3	183.6	147.7	35.9	65.0	148.8	123.387097
3月	81.2	51.9	133.1	103.8	29.3	49.8	124.8	106.650641
下期計	455.7	336.8	792.5	635	157.5	273.9	727.5	108.934708
合計	737.6	673.8	1411.4	1108.8	302.6	449.6	1353.1	104.308625

注:観光入込客数等は、小数第2位(十人単位)を四捨五入し、小数第1位(百人単位)まで記入する。(例 1,234,567人の場合、“1,234.6”)

上期の観光入込客数の増減要因等

・全体での入込数は減となっているが、日帰客は横ばい、宿泊客延数は増となっている。

・9月は日帰・宿泊とも大幅な減。宿泊延数は微減。

【要因】

・昨年の震災及び「安・近・短」傾向の反動の影響がみられる。さらに9月は猛暑と紅葉の遅れにより、大きく減少となった。

・外国人観光客は、震災の影響からの回復をみせ、H22年度比でも40%を超える大幅増となった。その半面、修学旅行客数は旅行先の東北方面への回帰により減少となったため、宿泊客数の押し上げに至らなかった。

下期の観光入込客数の増減要因等

・全体では日帰客、宿泊客ともに前年に比べ増加。

・なお、10、11月は日帰・宿泊とも減。

【要因】

・震災以降、入込客数は回復しているものの、猛暑の影響により紅葉がなく、すぐに雪が降ったため秋期の入込が減った。

・外国人観光客については、下期の宿泊客延数が前年比50.6%となっており、震災により来日を控えていた方々が戻ってきたこと、及び円安が影響したものと思われる。